

気候変動対策の主流化促進支援業務（2024-2025 年度）

（公告日：2024年1月15日 管理番号：23a00879）について、意見招請実施要領に関する意見・質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部次長（契約担当）

通番	該当頁	項目	意見・質問	回答
1	P7	別紙1 業務仕様書（案） （5） JICA Climate-FIT 改訂	これまでのように新規方法論を作成する場合もあろうかと思っておりますので、タイトルは「（5） JICA Climate-FITの改訂及び新規作成」が適切かと思っておりますが、いかがでしょうか？	新規方法論の追加もClimate-FIT改訂に含まれるという理解ですので、タイトルは変更せず、意見招請実施要領の訂正通番1の通り本文の記載を変更いたしました。
2	P8	別紙1 業務仕様書（案） （5） ④ Climate-FIT活用事例の作成	事例の作成については、適応案件を対象に作成する、という理解で良いでしょうか？緩和についても作成することになるのでしょうか？緩和・適応のいずれまたは両方が対象かを明記いただくのが良いかと思っております。	事例の作成は、緩和・適応の両方が対象となります。本文の記載を意見招請実施要領の訂正通番2の通り変更いたしました。
3		改善提案	事業者・コンサルが、C-FITを使って削減量の算定、または気候リスク評価を行うにあたり、現状のFITや運用状況をみて改善提案を求めてみてはいかがでしょうか。	ご提案ありがとうございます。今後Climate-FITの活用を進めるにあたり、受注者様から改善提案をいただき、それを踏まえて本業務におけるClimate-FIT改訂業務を実施することと致します。（仕様書の変更はなし）
意見招請実施要領の訂正				
通番	該当頁	項目	訂正前	訂正後
1	P7	別紙1 業務仕様書（案） （5） JICA Climate-FIT 改訂	国際機関等が発表している最新の情報や GHG 排出削減量推計ツールを参照し、さらに、JICA 内関係各部との打合せを通じて課題の洗い出しを行い、その結果を踏まえて改訂する。改訂対象は日本語版、英語版の両方とし、日英で齟齬が生じている場合は日本語版の内容を正とする。	国際機関等が発表している最新の情報や GHG 排出削減量推計ツールを参照し、さらに、JICA 内関係各部との打合せを通じて課題の洗い出しを行い、その結果を踏まえて改訂（ 新規方法論の追加を含む ）する。改訂対象は日本語版、英語版の両方とし、日英で齟齬が生じている場合は日本語版の内容を正とする。
2	P8	別紙1 業務仕様書（案） （5） ④ Climate-FIT活用事例の作成	JICA の案件形成段階における Climate-FIT 有効活用の参考事例として適切な事例を企画部サステナビリティ推進室と打合せの上選抜し、Climate-FIT を用いた気候リスク分析を実施した例として、各事例につき 3 ページ程度に取りまとめた活用事例を作成する。事例は可能な限り上記（3）でレビューした案件をもとに作成する。	JICA の案件形成段階における Climate-FIT 有効活用の参考事例として適切な事例を企画部サステナビリティ推進室と打合せの上選抜し、Climate-FIT を用いた気候リスク分析を実施した例として、各事例につき 3 ページ程度に取りまとめた活用事例を作成する（ 緩和策2件程度、適応策2件程度を想定 ）。事例は可能な限り上記（3）でレビューした案件をもとに作成する。